

## 村上市総合計画審議会 議事録

会議名	第4回 村上市総合計画審議会																																																																																												
年月日	平成27年12月16日(水) 14:00~16:10																																																																																												
会場	村上市生涯学習推進センター 大会議室																																																																																												
出席者	<p><b>【委員】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">荒川地区地域審議会</td> <td style="width: 20%;">会長</td> <td style="width: 30%;">会田 健次</td> </tr> <tr> <td>村上市観光協会</td> <td>会長</td> <td>浅野 謙一</td> </tr> <tr> <td>一般公募</td> <td></td> <td>板垣 真</td> </tr> <tr> <td>村上市金融団</td> <td></td> <td>漆山 淳哉(欠席)</td> </tr> <tr> <td>神林地区地域審議会</td> <td>会長</td> <td>大嶋 芳美</td> </tr> <tr> <td>朝日地区地域審議会</td> <td>副会長</td> <td>大滝 重秋</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人村上市建設業協会</td> <td>会長</td> <td>加藤 幹司</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人おたすけさんぼく</td> <td>理事長</td> <td>加藤 英人</td> </tr> <tr> <td>村上商工会議所</td> <td>会頭</td> <td>齊藤 茂(欠席)</td> </tr> <tr> <td>一般公募</td> <td></td> <td>斎藤 俊則</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人村上市岩船郡医師会</td> <td>会長</td> <td>佐々木 誠司(欠席)</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人村上市社会福祉協議会</td> <td>会長</td> <td>佐藤 芳男</td> </tr> <tr> <td>新潟県村上地域振興局</td> <td>局長</td> <td>田辺 敏夫</td> </tr> <tr> <td>村上市地域農業活性化検討会</td> <td>座長</td> <td>忠 聡</td> </tr> <tr> <td>山北地区地域審議会</td> <td>会長</td> <td>富樫 保晴(欠席)</td> </tr> <tr> <td>村上公共職業安定所</td> <td>所長</td> <td>長柄 肇</td> </tr> <tr> <td>村上市岩船郡PTA協議会</td> <td>理事</td> <td>八藤後 瑞枝</td> </tr> <tr> <td>村上地区地域審議会</td> <td>会長</td> <td>山口 治雄</td> </tr> <tr> <td>学校法人北都健勝学園新潟リハビリテーション大学</td> <td>学長</td> <td>山村 千絵(欠席)</td> </tr> <tr> <td>村上地域水産業再生委員会</td> <td>会長</td> <td>脇坂 三重城</td> </tr> <tr> <td>一般公募</td> <td></td> <td>渡辺 ひろみ</td> </tr> <tr> <td>NPO法人希楽々</td> <td>ゼネラルマネージャー・副理事長</td> <td>渡辺 優子</td> </tr> </table> <p><b>【事務局】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">村上市 政策推進課</td> <td style="width: 20%;">課長</td> <td style="width: 30%;">渡辺 正信</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課</td> <td>参事</td> <td>竹内 和広</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>副参事</td> <td>田中 和仁</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>係長</td> <td>田村 政和</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>主査</td> <td>渡辺 真吾</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>主事</td> <td>石平 悠佳</td> </tr> </table> <p><b>【コンサルタント事業者】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">エヌシーイー株式会社 都市環境部</td> <td style="width: 40%;">小見 直樹</td> </tr> <tr> <td>エヌシーイー株式会社 都市環境部</td> <td>土橋 佳代</td> </tr> <tr> <td>エヌシーイー株式会社 都市環境部</td> <td>吉川 佐和</td> </tr> </table>			荒川地区地域審議会	会長	会田 健次	村上市観光協会	会長	浅野 謙一	一般公募		板垣 真	村上市金融団		漆山 淳哉(欠席)	神林地区地域審議会	会長	大嶋 芳美	朝日地区地域審議会	副会長	大滝 重秋	一般社団法人村上市建設業協会	会長	加藤 幹司	特定非営利活動法人おたすけさんぼく	理事長	加藤 英人	村上商工会議所	会頭	齊藤 茂(欠席)	一般公募		斎藤 俊則	一般社団法人村上市岩船郡医師会	会長	佐々木 誠司(欠席)	社会福祉法人村上市社会福祉協議会	会長	佐藤 芳男	新潟県村上地域振興局	局長	田辺 敏夫	村上市地域農業活性化検討会	座長	忠 聡	山北地区地域審議会	会長	富樫 保晴(欠席)	村上公共職業安定所	所長	長柄 肇	村上市岩船郡PTA協議会	理事	八藤後 瑞枝	村上地区地域審議会	会長	山口 治雄	学校法人北都健勝学園新潟リハビリテーション大学	学長	山村 千絵(欠席)	村上地域水産業再生委員会	会長	脇坂 三重城	一般公募		渡辺 ひろみ	NPO法人希楽々	ゼネラルマネージャー・副理事長	渡辺 優子	村上市 政策推進課	課長	渡辺 正信	村上市 政策推進課	参事	竹内 和広	村上市 政策推進課 企画政策室	副参事	田中 和仁	村上市 政策推進課 企画政策室	係長	田村 政和	村上市 政策推進課 企画政策室	主査	渡辺 真吾	村上市 政策推進課 企画政策室	主事	石平 悠佳	エヌシーイー株式会社 都市環境部	小見 直樹	エヌシーイー株式会社 都市環境部	土橋 佳代	エヌシーイー株式会社 都市環境部	吉川 佐和
荒川地区地域審議会	会長	会田 健次																																																																																											
村上市観光協会	会長	浅野 謙一																																																																																											
一般公募		板垣 真																																																																																											
村上市金融団		漆山 淳哉(欠席)																																																																																											
神林地区地域審議会	会長	大嶋 芳美																																																																																											
朝日地区地域審議会	副会長	大滝 重秋																																																																																											
一般社団法人村上市建設業協会	会長	加藤 幹司																																																																																											
特定非営利活動法人おたすけさんぼく	理事長	加藤 英人																																																																																											
村上商工会議所	会頭	齊藤 茂(欠席)																																																																																											
一般公募		斎藤 俊則																																																																																											
一般社団法人村上市岩船郡医師会	会長	佐々木 誠司(欠席)																																																																																											
社会福祉法人村上市社会福祉協議会	会長	佐藤 芳男																																																																																											
新潟県村上地域振興局	局長	田辺 敏夫																																																																																											
村上市地域農業活性化検討会	座長	忠 聡																																																																																											
山北地区地域審議会	会長	富樫 保晴(欠席)																																																																																											
村上公共職業安定所	所長	長柄 肇																																																																																											
村上市岩船郡PTA協議会	理事	八藤後 瑞枝																																																																																											
村上地区地域審議会	会長	山口 治雄																																																																																											
学校法人北都健勝学園新潟リハビリテーション大学	学長	山村 千絵(欠席)																																																																																											
村上地域水産業再生委員会	会長	脇坂 三重城																																																																																											
一般公募		渡辺 ひろみ																																																																																											
NPO法人希楽々	ゼネラルマネージャー・副理事長	渡辺 優子																																																																																											
村上市 政策推進課	課長	渡辺 正信																																																																																											
村上市 政策推進課	参事	竹内 和広																																																																																											
村上市 政策推進課 企画政策室	副参事	田中 和仁																																																																																											
村上市 政策推進課 企画政策室	係長	田村 政和																																																																																											
村上市 政策推進課 企画政策室	主査	渡辺 真吾																																																																																											
村上市 政策推進課 企画政策室	主事	石平 悠佳																																																																																											
エヌシーイー株式会社 都市環境部	小見 直樹																																																																																												
エヌシーイー株式会社 都市環境部	土橋 佳代																																																																																												
エヌシーイー株式会社 都市環境部	吉川 佐和																																																																																												
[進行]事務局	<p>1. 開会 〈欠席委員の確認〉 ・漆山委員、齊藤茂委員、佐々木委員、富樫委員、山村委員の5名が欠席</p> <p>2. 会長挨拶</p>																																																																																												

忠会長	〈あいさつ〉
[説明]事務局	<p><b>3. 議事</b></p> <p><b>(1) パブリックコメント意見への対応について</b></p> <p>〈資料1について説明〉</p>
忠会長	<p>市長さんからは論文みたいだ、というコメントをいただきました。事務局が苦勞されてまとめていただきました。資料にあるように、結果のところはあえて空欄になっております。今、お話のとおり、特段修正はしなくていいのではないかとというのが、こちらの案です。これにつきましてご意見をいただきたいと思います。</p>
加藤幹司委員	<p>6番の風力発電ですけれども、37機の風車をつくるということに合意したと新聞報道にあがっていたのですが、これは現在、日立造船を代表とするSPCが、もう環境アセスメントに入っているのではないかと思うのですけれども、市として事業推進の方向性を検討する権限があるのでしょうか。これはSPCの権限ではないかと、私は思っているのです。</p>
事務局	<p>加藤委員のおっしゃるとおり、事業主体はSPCですので事業推進の方向性はSPCで間違いございません。環境アセスメントの方はまだ実施していません。事業性評価を28年の11月までやるということになっておりますので、そのときにならないと正式な形でのゴーサインは出ません。ただ、環境アセスメントも引き続き長期間かかります。</p> <p>市の関わりとしては、昨年来、事業は推進すべきだという方向性を出していますけれども、それはあくまでも、それを活かしたまちづくりをどうするかということで、事業自体の推進は加藤委員のおっしゃるとおりですので、「村上市総合計画策定の中で事業推進の方向性を検討していくこととしています」という表現は捉え違いがあるのかなと思いますので、若干修正をさせていただくことになると思います。事業推進の方向性を検討していくということよりも、事業を活かしたまちづくりの方向性を検討していくという趣旨の表現でその変更をお願いしたいと思います。</p>
忠会長	<p>分かりました。意味合いの修正をすることによってよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>「事業推進」という4文字を、「まちづくり」と置き換えてよろしいかと思えます。ご了解いただきたいと思えます。</p>
忠会長	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>それでは、ご意見がないようですので、パブリックコメントに対する意見としましては、加藤委員からご指摘されたものについて訂正を加えるということで対応していただくということによってよろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」の発言あり)</p>
忠会長	<p>それではご異議なしと認めまして、そのように決定させていただきます。</p>
[説明]事務局	<p><b>(2) 村上市人口ビジョン及び村上市総合戦略について</b></p> <p>〈資料2について説明〉</p>

<p>忠会長</p>	<p>それでは、こちらも2つに分けてご協議いただきたいと思います。3番の人口ビジョンのところでは、細かな字句の修正はあったけれども、基本的には変わっていないという説明です。人口ビジョンについてご意見をいただきたいと思います。どなたからでも結構ですのでよろしくお願いします。</p> <p>ご意見ございませんか。</p> <p>ないようですので、もう一つの方の総合戦略について、ご意見をいただきたいと思います。先ほども大きな部分として、水産業の担い手につきましては、先回、脇坂委員からご意見をいただいておりますので、そこについては、このように付け加えさせていただいたということです。ほか、大きな違いはないわけですが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それではご意見なしということで、今示されております人口ビジョン、総合戦略については、ご覧のように訂正させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
<p>加藤幹司委員</p>	<p>総合戦略の施策の展開のところに、「基本政策」が1からずっとあるわけですが、これの評価はKPIでの手法で行うとありました。確かに、ここに出ているのは、KPI評価の一番大事な1項目であるわけですが、そのKPIの評価項目としまして、これ1つだけでいいのかなという気がするのです。KPIは何も1項目だけに限定されているわけではないと思います。ですから、評価基準を複数に増やした上で総合評価をやったらいかがなものかとお伺いしたいと思います。いかがなものでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>6ページの下段の5に小さな字で恐縮ですが、重要業績評価指標「KPI」と、施策ごとの進捗状況を検証するために設定する数値をいうということで、重要ということをご勘弁いただきたいと思います。実際に、PDCAサイクルでやるということは、14ページで必ずこれは国から地方創生の交付金を頂戴したときに、必ずこのPDCAサイクルでやりなさいと、そのための指標ということで設定させていただきました。</p> <p>数値で押さえるということですので、数値として取りやすい、あるいは把握しやすいものを重要評価指標としてしまった点はあるかと反省しております。</p> <p>交付金申請の際に、この主要施策の中の小さい主要施策ごとに、KPI的な数値目標は設定してあるのです。例えば7ページの上にもらかみ製品の販路拡大とありまして、主な事業①林間ワサビ栽培チャレンジ事業とあります。これは実は、ここには出していないのですが、5年後にはどのくらいの企業の創業を図りましょう、あるいは地元食材の全国出前事業補助金には、5年に何件の新たな販路を拡大しましょうとか、個々の数値は設定してあります。実際のPDCAの評価のときは、この事業の数値もお示しながら評価に反映させていただければありがたいかなと思っております。</p>
<p>加藤幹司委員</p>	<p>説明を聞いて納得いたしました。ありがとうございます。</p>
<p>佐藤副会長</p>	<p>私は学校教育の部分にずっといたので、その部分とこの計画が、どういうふうに関わっていくのかなと考えておりました。教育委員会が、このような戦略をどう受け止めて、何か教育に活かしていくのか。個々のこれから施策を進める部分と、その辺の考え方というのは、関係なさそうだけれども、全体を通してみると、教育が非常に大きいなと感じましたし、人口減少で、教育がここに言及されていない部分があるのではないかと思いました。そこで、考え方だけでいいのですが、教育も産業分野も観光分野もみんなこれらを受け、行動、活動をしていくと、これから行政計画を立てていくということから考えると、産</p>

事務局	<p>業とか、そういう部分はある程度ははっきりしているのだけれども、教育とか、それがどう読み取っていくのかという不安があるのです。考え方で結構ですので、教えてください。</p> <p>この総合戦略は皆さま方にご議論いただく前に市役所の組織内でも意見交換、それから各課の意見を聞いています。補助金、交付金が入り口だったので、産業や子育てとか、そちらの方にシフトしているというのはご指摘のとおりです。ここから教育が読み取れないというのもおっしゃるとおりだと思います。</p> <p>圓山教育長は、人口減少は、ふるさとを愛してここにとどまってくれる子どもたちの受け皿を大事に、雇用や職場も大事ではあるが、教育の面では体験だと。その中で圓山教育長が提案されたのが、今やっているキャリアスタートウィーク事業です。この中で村上が誇っている伝統文化、農業、水産業、食材を活かした産業など、そういうもので地元を愛する子どもたち、あるいはこの自然を愛する子どもたちを育てることが基本中の基本ではないかということで、ご発言がありました。具体的にはキャリアスタートウィーク事業の充実を図るべきだと。なんとか総合戦略の中に盛り込めないかという具体的なご提案もあったのですが、取り込めませんでした。</p> <p>庁内の策定部会もそうですけれども、総合戦略部会の中で1回発言させていただいたのですが、その趣旨は総合計画の中で十分引き継がせていただきますという考え方であります。総合戦略は、総合計画の一部だと思っていますので。</p> <p>総合戦略を核とした人口減少対策は、総合計画の中に引き継いでいくのだということで総合計画審議会の皆さんに先行してご議論していただいたという経緯もありますので、教育の面でも、教育部会はこれからその動きがありますけど、その辺は十分ご議論いただいて総合計画の中で十分反映させる総合戦略という位置づけの中で対応させていただきたいということで事務局としては考えております。</p>
忠会長	<p>先ほどの加藤委員からご指摘の部分なのですが、資料14ページを一番最後のところ、進捗管理と検証というところに、「また、事業の進捗の管理や政策などの評価にあたっては、学識経験者や市民などの意見を踏まえながら行うものとします」という文言も加わっておりますので、KPIによるものだけではなくて、いろんなご意見をいただきながらということで、受け止められるのではないかなど、私も改めて感じた次第ですがいかがでしょうか。よろしいですか。</p>
山口委員	<p>今の進捗管理の件ですが、これまで20年間、まちづくりに関わってきて、いろんな計画や行動をやってきております。</p> <p>少し残念なことに、やはり形になっていないものなど結構多くあって、悪く、極端にいいですと、計画倒れのものが多いのではないかと思います。基本的に、本質的な面は、20年前にやったHOPE計画と非常によく似ている。ただ、そのHOPE計画をやった実質的な成果として、どのように形になって、ここに結びついたのか。いわゆる、何がまずかったのかということ、進捗管理だと思うのです。</p> <p>このシステムが、この14ページに書かれてある文言では少し読み取りにくいのです。システム化されていないように感じます。そんなことで、これを直せと、私は言っているのではなくて、もし、システム化するような図式に分かりやすくできるのであれば、私みたいな素人にはよく理解できるのかなど、そんなふうに思います。</p> <p>往々にしてこういう計画や制度というのは、簡単に形骸化してしまうものです。その辺を踏まえて、ぜひ頑張ってもらいたいと思います。</p>

事務局	<p>ありがとうございます。行政の不得手なところをグサッと突かれたようであります。山口委員はよくご存じのように、環境基本計画も進捗管理委員会が機能していないというご指摘は地域審議会からもございました。</p> <p>今、国は必ず交付金でも補助金でも、評価がないともう計上しないという姿勢を貫いています。市役所も道路一つ一つとか、そういう面の評価はだんだんしているのですけれども、総合計画という総花的な中身の評価というのは非常に不得手な部分です。</p> <p>村上市でも、正直言って今まで手遅れの部分であります。行政改革推進委員会のところで事業を抜粋しての評価を進めてきましたが、今回ここに書かせていただいたものは、先行型の交付金をいただいたものの、これをやらなければ交付金を返さなければいけないという位置づけでございます。</p> <p>具体的には、国の当初の話では、今年度中に評価しなさいということでした。これは皆さま方にご相談しなければいけないのですけれども、もしかしたら1回目の評価は皆さま方にやっていただくことになろうかと思っております。</p> <p>ただ、何十人で評価するものではないということは重々承知しておりますので、この総合計画の策定が落ち着いたら、少人数で、どういう選考にするのか、皆さま方から選ばれるか分かりませんが、今までにない形での評価はやらなければならないという意識でありますので、これが見本になってあらゆる計画に反映していけばいいかなというのが1点です。</p> <p>これは情報提供になりますけれども、村上市は今年度予算いただきまして、新たに行政評価制度を予算化しました。現在全ての事業を巻き込みたいのですが、膨大な事業がありますので、新たなシステムを入れまして指数である評価制度を、今年度構築中であります。来年度からその評価指数が公開される形になっていきますので、計画の進捗管理と役所がやっていることの進捗管理が今まで以上に皆さまに分かりやすい形で公開しようということで今年度取り組んでいます。もうちょっと時間をいただくと、少しずつ前向きな行政に変わっているということがご理解いただければと思います。</p>
会田委員	<p>今、事務局から財政支援的なお話があったのですが、この総合戦略を策定することによって、次は財政支援することになっているわけですが、どういう形で財政支援するのか。あるいは市から上がってきたものをやるだけ支援してくれるのか。この辺お分かりでしたらお聞かせ願いたい。</p>
事務局	<p>現在入っている情報は、統合補助金、略して一括交付金という名前しか入っていません。ただ、仕組みを言いますと、昨年度 8,300 万円いただいて、先行型で取り組ませていただいた事業の財源は、保障されておりません。市の持ち出しになる可能性が大きいです。実は当初、盛り込むときからも心配していたのですが、今の国の財政事情を見ていただければ分かりますように財源不足なのは明らかですので、基本的に地方に落ちる金は決まっているわけです。市町村としては新たな事業をやる分だけ持ち出しになるんだろうなという意識です。</p> <p>もう一つ、一括交付金の特徴は、国が地財措置と言っているものは、各省庁で 300 ぐらいのメニューがありまして、そこで交付金申請して、該当したものをまとめて交付するという、単なる補助申請をまとめて交付するから、その中で自由に使っていいよというだけであって、今までの国の直接的な交付申請とあまり変わらないのではないかと思います。出す側の一括交付であって、申請する側は、今まで通りそれぞれの交付金であまり変わりがありません。ましてや地方創生という言葉に冠をつけると、すぐ地方再生計画をつくりなさいとか、</p>

	<p>なんとか計画をつくりなさいとかと、指示されることもあります。</p> <p>ただ、間違いないのは、そのような有利な制度をいっぱい設けていますので、制度にのれる市町村はどんどんやって財源が来ますというところです。現在はここまでの情報です。</p>
会田委員	<p>例えば大きな事業をやる際には起債を起こすとか、それを交付税に入れるとか、そういったやり方もなされる。すべて交付金で処理するのか。</p>
事務局	<p>地方創生と起債の部分は別に考えていただいてよいと思います。地方再生制度が地方創生によって変わるという情報はいただいていませんので、通常の地方再生制度の中の交付税措置というのに変わりないかなど。今のところ、交付金と交付税の関係の情報はちょっと入手しておりません。</p>
加藤幹司委員	<p>確認なのですが、各事業に対する評価、KPI を毎年やると以前伺っております。そうしますと、PDCA サイクルによる検討評価、これは一応、5年サイクルでやるような意味にくみ取れるだけではありますが。そこら辺のところ、毎年やるのか、5年に1度PDCAをやるのか。この辺のところはどうなのでしょう。</p>
事務局	<p>具体的にご説明させていただくと、7ページをお開きいただきたいと思えます。7ページの基本政策の2番で市内の産業活性化に向けた政策の強化とあり、その重要な指数として、商談の成立数と6次産業化事業者数の、それぞれ平成31年度の目標を設定させていただきました。</p> <p>それを実行するために、主要施策1としてむらかみ産品の販路拡大、主要施策2として産業活性化の支援強化に取り組みます。具体的な事業は、主要施策1は①から④、主要施策2は①から③となっております。</p> <p>平成26年度「なし」だったものを、1年間具体的な事業の①から④を実施し、結果がどうもかんばしくないとなったら、この①から④をずっと実施せずに変更してもいいのです。新たに⑤の事業を実施し、①をやめるなどして良いことになっています。このチェックは毎年やらなければいけないことになっているので、その組織化を28年度予算に要求させてもらっているというのが現状であります。</p>
忠会長	<p>それでは、こんなところかと思ったら、重要なポイントをいただきました。改めてお答え申し上げたいと思いますが、先ほど、各委員のご意見を求めました。それらを加えて、このような形でまとめさせていただきたいと思いますがよろしければ。</p>
加藤英人委員	<p>先ほど加藤委員が言われたことで、私もどうかと思ったのですが、方向性4の、元気づくりと人づくりという部分がこの後の部分に、人づくりという部分が12、13ページの具体的なものになったときに、ない。12ページの上の、方向性4のところに「人づくり」とあって、その下に「担い手づくり」とあるのです。このものに関しては、やるのかなというように思えてならないのです。</p> <p>定住自立圏の中に入っているということで、この定住自立圏の中のいったいどういう部分なのかというのは、なかなか見えない部分もありまして、みんな入っているんだ、と蓋を開けてみたら、「えっ」という形もあり得ると思ったのですがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>12ページの施策の方向性4の地域の元気による元気づくりと人づくりの、人づくりは何をもって人づくりというのかというご指摘かと思えます。定住自立</p>

	<p>圏の中に入っている云々というよりも、特に一番、人づくりの部分で意図したのは、基本政策2の「地域の力を生かした支え合い体制の構築」は、これは人でなければできない、というようなイメージで、人づくりをやらせていただきました。</p> <p>小さな拠点の形成で①通所型サービスの地域運営モデル事業として、地域の人々が地域で支えてくれるような組織下の中で頑張ってくれる仕掛けをやりたいなというのを意識して人づくりをやらせていただいています。</p> <p>平成28年度は、高根と塩谷の2集落で、買い物支援は私たち集落で支えますということで、荒川の組織の人から集まっています。こういう積み重ねで人づくりに繋げていただきたいという趣旨でつくらせていただきました。</p> <p>それを言わないと分からないというのは反省点かなと思っていますが、事務局の作り込みの意図としては、そこに入っているということです。分かりにくさについてはご指摘のとおりだということです。</p>
加藤英人委員	<p>そういう集落対応という部分はそれでいいかと思うのですが、先ほど加藤委員も言われたように、担い手づくりというのは、子どもたちがその地域を誇りに思い、語ったり…という部分であり、そのような部分がこの総合戦略では見えていないのではないですか。その担い手という部分は、支え合いの体制以外でも当然あるわけですよね。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおりかと思います。基本的には、国の基本施策の4つは地域連携で、地域連携の中で何をやるのかという意味での、地域を支える人材づくりという意味での人づくりが担い手というふうに書きすぎたかなという反省点はございます。</p>
忠会長	<p>いかがでしょうか、加藤委員。文言の修正まで踏み込みますか。いいですか。</p>
事務局	<p>この「担い手づくり」を、形成やそれを支える人づくりと直せば、担い手という事業ではないじゃないかというのは、ちょっとぼやけるかなというところがあるのですが。</p>
加藤英人委員	<p>総合計画で盛り込んでいただければと思います。</p>
事務局	<p>分かりました。</p>
忠会長	<p>そういう前提のもとに、ということでお願いします。</p>
事務局	<p>最初の段階で担い手づくりというのは、私ども、切々と現場から聞くのは次期をどうしていくのかというところを非常に危惧しているところから、次期の担い手というところを盛り込んだものです。</p> <p>事業としてみれば、この後、PDCAの中で新たな事業を加えていくべきだとか、今年度取り組めるところはどこまでかという部分で、正直言いますと、12ページ2番の「小さな拠点の形成」の中で通所型サービスの地域運営モデルという形でもらったわけですが、中身については、通所型サービスというのは、高齢者の寄り合い所みたいなものをイメージしています。こうしたものを核としてさまざまな世代の方が入ってくるような拠点づくりを各所で進めましょうというものです。</p> <p>これをモデル事業の核として、いろんなサービスにつなげたり、そこに賑わ</p>

	<p>いを創出したり、いろんなことをしていこうと。そして、それが拠点として活かせるならば、高齢者の集まるところに商店の方を呼び込みましょうとか、せっかく賑わいがあるので子育ての世代を入れましょうとか、またそこでもう少し踏み込んで、事業なんか集落としてやらないかとか、隣の集落も巻き込んでやらないかとか、そういうものを目指しているものです。</p> <p>ただ、最初からそれをやろうというのは、非常に困難でありまして、今はモデル事業としてどうやって進めていくかという中で話を進めております。なかなか、最初から思うようなものにならないかもしれませんが、いずれは担い手といわれる世代にバトンタッチしていくような形であればいいなと思いながらやっているところなので、もう少し進捗を交えた形で、皆さんにご説明できるように今後取り組んでいきたいと思っておりますので、その点、不足があるかもしれませんけれども、ご理解いただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>私、定住自立圏を担当しておりまして、先ほど加藤委員のおっしゃるとおり、こちら13ページに「定住自立圏による地域の連携づくり」という主要施策がございます。この中の主な事業として①連携事業の推進ということで、こちらの事業の中に、今年度、栗島浦村さん、関川村さんと定住自立圏ということで協定を結びました。その事業の中で、28年度に向けてグリーンツーリズムの取り組みと、林業、担い手育成、人材育成の部分の事業を追加する予定で話を進めております。そういったことで、地域の連携による担い手づくりについても、この定住自立圏の事業メニューの中で推進を図っていくということで、考えておりますのでその辺でもご理解いただきたいと考えております。</p>
加藤英人委員	<p>今、グリーンツーリズムの話が出たので1点だけ。色々な素材があり、人もいるのですが、受け入れ体制が駄目なのです。なぜ駄目かということ、一番の問題が民泊できない点です。先日、総合戦略特区で、民泊の特区を申請して採択されたところもあります。ですから、そういう形で具体的に進めていって、一歩でも二歩でも前に行かないと、計画倒れになると、事業は進捗しないので、その辺は連携したからいいやではなくて、確実に一歩、二歩と進めていただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>大変貴重な意見をありがとうございます。</p> <p>実は私どもの方でも、グリーンツーリズムの事務局と事業の取り組みについて話し合いをしていただき、まさしく今、加藤委員からおっしゃったとおり、受け入れ体制等の現状や課題について、こういうことがあるというお話をお聞きしました。今回の連携を受けまして、現状、課題を今一度整理して、これからどういうふうに具体的に取り組むかというお話をこれから出していただきたいと考えておりますのでよろしくお願ひします。</p>
浅野委員	<p>素晴らしい意見で、観光協会としてはそのとおりだと思います。</p> <p>民泊の問題は、私どもの業界にすれば、やはり反対を唱えております。旅館業法がありますし、また宅建協会や不動産業の皆さまとの話し合いもされているということで、まだ政府の対応もはっきりしておりません。この民泊については、旅館業法の簡易宿泊所の対応ということでやられるようなのですが、なかなか消防法とか、いろいろ私どもも規制緩和の部分で、かなり今、実際、思考停止しているような状況です。</p> <p>いずれにしても、大きな流れとしては宿泊施設は足りないという部分で大都市圏では理解が進んでおりまして、すでに、大田区とか先取りしてやっておられます。その部分については、例えば1週間以内とか既存の宿泊施設を配慮さ</p>



忠会長	<p>れた形ですすでに特区の中で、かなり現実的に、無理のない範囲で実際特区として進んでいるというのが民間の状況です。</p> <p>地方では、全くその大都市圏とは状況が違うということを、私どもは訴えている状況であります。</p> <p>しかし、一方で、加藤委員が言われている人づくりということについては、全く別の視野で、私は共通認識は持っています。ここをうまく解決をして、村上市では解決できない部分だと思ひまして、この議論とは関係ないのですが、民泊だけについて、注釈を入れさせていただきました。</p> <p>いろいろなご意見をいただいたところです。</p> <p>ご説明するには、文字が少なかったり、皆さんも感じているところはあると思いますけれども、説明があったとおり、いろんな意味で配慮しながら、この計画で進めさせていただき、まとめさせていただきたいと思ひます。よろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」という発言あり)</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。大変時間を要しましたけれども、本当にありがとうございました。</p>
事務局	<p>皆さま方で、人口ビジョンと総合戦略をご協議いただきましたので、具体的に総合戦略ということで諮問はさせていただいておりませんが、提言という形で会長から市長の方に、あげさせていただきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。提言は後日、こういう形で出しましたというのは皆さま方に配付させていただくということでご了承をお願いします。</p>
[説明]事務局	<p><b>(3) スケジュール (案) について</b>  〈資料3について説明〉</p>
忠会長	<p>毎回、活発なご意見がいっぱいあるものですから、私は会長として、本当にこのスケジュールどおり行けるのかやや心配なところもあります。私どもに課せられた、一番の大事な役目ですので十分に、ある意味では時間を取りながら進めていきたいと思ひます。一応、目安として事務局からこのような提示あったということですので。どうぞ、ご意見をお願いします。</p> <p>私が事務局にあえてお聞きしますけれども、先ほど、総合戦略の中で出ておりました洋上風力発電、それから、村上駅前の新たな開発が、向こう5か年の中でやや見えてくる場合もありますが、そういった意味での経済活動を、この総合計画の中でどんなふうに取り扱ったらいいか。この期間中で何か大きな結果みたいなものが予測されるのかどうなのか。そこら辺はどうでしょうか。</p>
事務局	<p>今、会長のおっしゃった2つが、事務局としてはスケジュールの中で大きな悩みの種でございます。先ほど、洋上風力発電の中で事業性評価が平成28年11月と言いました。28年11月にやるかやらないかを定めるのに、12月にどうやって市議会に提案するのだろうかという疑問が残ります。</p> <p>まず、洋上風力発電の中だけを先に言わせていただきますと、総合計画の記載の仕方かと思ひています。事業主体はSPCですので、村上市が何をやります、これをやりますというのは、総合計画の中に載る要素というのは本来ございません。ただ、それを活かしたまちづくりを検討するということはあると思ひます。現段階の考え方というのは、実際洋上風力発電が、それから何年かかるの</p>

	<p>かという点ですが、今、10年スパンであります。総合計画の計画期間は次回ご提案させていただきますが、5年ぐらいでいいのではないかと素案を持っております。そうすると、5年の外という意識がございます。</p> <p>村上総合病院につきましては、先に新聞報道がありましたように、平成32年ごろという話ですので、計画期間である5年のうちに入ります。その公表時期がどうなるかという最終判断は今のところ未定ですので、事務局より先ほど説明した中の目安というところはそこの意味が大きいです</p> <p>市長には12月の計画策定は無理かもしれません、3月になるかもしれません、という話をしています。29年度からの総合計画でも、29年の9月議会で承認をいただき、4月から計画期間は始まっているという手法を採られる自治体もございます。その辺は流動性を持たせていただきたいと。ただ、目標を定めないと作業が先延ばしになりますので、最終決定は別としましても、このスケジュールを基本に進めさせていただいて、若干その関係で審議会の回数が増えたり、次回との間が伸びたりすることはあるかもしれませんが、これを目標に進めさせていただきます。あくまでも12月は目標で、変動有りということで現段階ではご理解いただきたいと思っております。</p>
<p>忠会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>いろんな要素も、この中にあるということ踏まえてのスケジュールということ。ご意見、いかがでしょうか。</p> <p>また、私、事務局と事前に相談した中で、部会ごとの議論をぜひお願いしたいところでもあります。さらに深掘りで、いろんなご意見が出るのかなと思っております。一方で市民の皆さま方に興味を持っていただくための手法も、あっていいのではないかと思います。この会議が終わりますと、ホームページでこの議事録が公表されていますが、公開審議会というもの1つの方法としてあるように思います。傍聴席を設けて、関心のある市民の方から、この審議の内容を聞いていただくと、そんなことをやってみたときに、市民の関心を少しでも採り入れるものになればよろしいのではないかと考えております。あえてこのスケジュールの中にそういったことは記載はしていませんが、これについてもどなたかご意見があれば、ぜひ承りたいと思っておりますがいかがでしょうか。</p>
<p>山口委員</p>	<p>今、会長からお話があった公開制度ですが、これをぜひ進めていただきたい。総合計画は何のためにあるのかというと、市民参加のため。市民参加であって、市民を主体的にまちづくりに参加してもらうということが大きな役割というか目標なものですから、大いに公開して、多くの人に好きな時間に途中から入って途中抜けても構わないということで、ぜひ進めてやってほしいと思っております。</p> <p>もう一つは、先ほどの洋上風力発電のことなのですが、総合計画と洋上風力発電の整合性なのですが、配慮書を経産省に出すような時期的なものはそこまで話し合いに至っていないのでしょうか。配慮書を出してしまった後、総合計画の中で、政策的な論争をやっても何の意味がない。そんなふうに思っております。</p>
<p>事務局</p>	<p>すみませんが、承知しておりません。今聞いているのが、11月までが事業性評価ということで、経産省との手続きの関係は承知しておりません。申し訳ありません。</p> <p>審議会の件ですが、この会議も公開としているのですが、どなたも来ないのは、宣伝の仕方がよくないと思っておりますので、私どももまた考えさせていただきたいと思っております。総合戦略もできあがれば、市報で特集を組むことにしておりますので、その中で宣伝させていただきたいと思っております。</p>

板垣委員	私は一般公募でメンバーになったので、多いに出向いてもらうべきだと思います。このスケジュールの中に、市民説明会というのがそれと考えると考えればいいのですか。
事務局	市民説明会は、出向いてやろうと思っております。この段階で、市長がやるのか誰がやるのかは未定です。ここに書かせていただいたのは、やはり山口委員がおっしゃったように、市民にどうやって知らせるのだと、興味を持っていただく意味でも、先般は市長とのふれあいトークをやらせていただきました。全地区で1回ずつやらせていただきました。人数は、さして参加していただけなかったのですが、中身的には、非常にいいやり取りをさせていただいております。来る人数の大小ではなく、市民の声を踏まえて、ちゃんとメッセージを出したいと思っております。今のところ、各地区、一番大きな会場で1回程度になるのかなと思っておりますが、市長には「やりたいです」ということは伝えてあります。今のところやるとすれば8月というイメージです。
忠会長	ほかにご意見がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは一応、こういうスケジュールをもとに、年度末、または次年度ということでやっていただきたいと思います。大変ありがとうございました。
	[5分休憩]
[説明]事務局	<p><b>4. 次回予備提起</b></p> <p><b>(1) 第1次総合計画中間総括について</b></p> <p>〈資料4について説明〉</p>
忠会長	これは次回に繋がるということですので、どうしても、今日、お答えを聞きたいという方につきましては、発言を許しますのでよろしくをお願いします。
加藤英人委員	これは市民に公開するのですか。
事務局	協議会資料として、ホームページに掲載します。
加藤英人委員	そうしたときに、皆さんによく見てもらい意見をという、あまりボリュームを増やすということではないのですよね。
事務局	その視点が大事だとなれば、大きさにはこだわらず増やすつもりです。
脇坂委員	生活環境及び我々漁業関係の問題なのですが、環境面でここにも書かれているように、不法投棄はかなりのパトロールをしていると紹介はされていますが、できればもう少し範囲を広くして、家庭の方も回ってほしいと思います。というのは、マナーがものすごく悪く、ごみをそのまま放置して行って、我々、目の届く範囲は片付けるのですが、全然目の届かないところはひどいのです。我々もどうしてもできないところがあるので、パトロールをして、なんとかそれを解決できるように考えていただきたいと思います。
事務局	そのまま環境課にお伝えします。
脇坂委員	なんとか本腰を入れてやっていただきたいと思います。この前も市長さんに会っ

	<p>たもので、話をしたら、それはなんとかしないといけないと言ってくれたのです。</p>
事務局	<p>すでに市長から環境課に指示が行っているかもしれませんが、そういう話があったということを伝えておきます。</p>
山口委員	<p>4 ページの一番上の自然環境の保全というところ、中ほどに環境フェスタを中心とした云々と書いて、「見直しが必要と考えられる」とありますが、今年の内容環境フェスタは内容がとてもよくできていまして、120 点くらいという感じでしたので。これはもう、見直しがされているということで取っておいていただければと思います。</p>
忠会長	<p>ほか、いかがでしょうか。</p> <p>それでは次回に十分時間を取ってあるということですので、本日の資料を持ち帰っていただいて、さらによく読んでいただきたいと思います。この中間統括は、まぎれもなく次回の計画に必ず繋がっていくように、またそうあらねばならないということですので、内容が多岐にわたっておりますが、ぜひお願いしたいと思います。それでは、次回にということですのでこれにつきましてはこれで閉じさせていただきます。ありがとうございました。</p>
事務局	<p><b>5. その他</b></p> <p>次回審議会につきましては、会長、副会長さんの予定を把握しながら、目安としては、1月28日木曜日を予定しています。</p>
加藤英人委員	<p>保育園の整備検討委員会と日程が重複していますがいいですか。</p>
事務局	<p>日程を調整し、早めに連絡させていただきます。</p>
佐藤副会長	<p><b>6. 閉会</b> 〈あいさつ〉</p>
	以上